



平成28年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月10日

上場会社名 株式会社プレナス

上場取引所 東

コード番号 9945

URL <http://www.plenus.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役社長

（氏名）塩井 辰男

問合せ先責任者（役職名）執行役員 会計本部長兼経営管理室長（氏名）一條 眞理

TEL 092(452)3678

四半期報告書提出予定日 平成27年7月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 平成28年2月期第1四半期の連結業績（平成27年3月1日～平成27年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	38,058	△3.1	1,903	△5.1	2,222	5.1	1,307	8.4
27年2月期第1四半期	39,287	3.6	2,006	6.6	2,115	△6.6	1,206	△10.4

（注）包括利益 28年2月期第1四半期 1,312百万円（110.6%） 27年2月期第1四半期 1,186百万円（△12.1%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第1四半期	34.21	34.17
27年2月期第1四半期	31.57	31.54

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第1四半期	87,616	63,264	71.8
27年2月期	87,184	62,907	71.8

（参考）自己資本 28年2月期第1四半期 62,930百万円 27年2月期 62,560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	25.00	—	25.00	50.00
28年2月期	—	—	—	—	—
28年2月期（予想）	—	30.00	—	33.00	63.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年2月期の連結業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	77,200	0.1	3,500	3.5	3,600	△1.3	2,100	1.2	54.95
通期	155,000	1.6	8,100	20.9	8,400	9.0	4,800	13.3	125.60

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P. 3 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期1Q	44,392,680株	27年2月期	44,392,680株
② 期末自己株式数	28年2月期1Q	6,174,699株	27年2月期	6,174,610株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期1Q	38,218,043株	27年2月期1Q	38,218,190株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 四半期決算補足説明資料の入手方法について

- 四半期決算補足説明資料は、平成27年7月10日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	P. 6
四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境が改善する中、設備投資が増加傾向を示す等、緩やかな回復基調が続きました。

当外食産業におきましては、個人消費に持ち直しの動きが見られるものの、人手不足の状況が継続する等、厳しい事業環境が続きました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、引き続き新規出店を行うと共に、店舗のQSC(品質、接客、清潔感)向上、商品力の強化、効果的な販売促進活動の展開に努めました。また、「ほっともっと事業」及び「やよい軒事業」においてフランチャイズ展開を推進し、さらなる事業基盤の強化に向けて、活動いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、380億58百万円(前年同期比3.1%減)、営業利益は19億3百万円(前年同期比5.1%減)、経常利益は22億22百万円(前年同期比5.1%増)、四半期純利益は13億7百万円(前年同期比8.4%増)となりました。売上高につきましては、既存店売上高が前年同期実績を下回ったこと、直営店の加盟店への移管が進んだことが要因で、前年同期実績を下回りました。営業利益につきましては、直営店舗の原価改善や、広告宣伝費等のコストの効率化を図ったものの、既存店売上高の減少の影響が大きく、前年同期実績を下回りました。経常利益、四半期純利益につきましては、為替差益の計上により前年同期実績を上回りました。

[国内における店舗展開の状況]

	前連結会計 年度末	新規出店	退店	当第1四半期 連結累計期間末	改装・移転
ほっともっと	2,728店	20店	27店	2,721店	50店
やよい軒	274店	2店	—	276店	2店
MKレストラン	31店	—	1店	30店	—
合計	3,033店	22店	28店	3,027店	52店

[海外における店舗展開の状況]

	展開エリア	前連結会計 年度末	新規出店	退店	当第1四半期 連結累計期間末
ほっともっと	中国	6店	—	1店	5店
	韓国	4店	—	1店	3店
やよい軒	タイ	129店	3店	—	132店
	シンガポール	6店	—	—	6店
	オーストラリア	1店	—	—	1店
	台湾	2店	—	—	2店
合計	—	148店	3店	2店	149店

セグメントの業績は次のとおりであります。

【ほっともっと事業】

店内調理による手づくりの特長を活かしつつ、「健康」をテーマとした様々な取り組みを行いました。お客様のより健康的な食生活を支えることが出来るよう、商品の製造工程や調理工程を見直し、4月より全弁当メニューを対象に減塩を実施しました。また、低カロリーで野菜をたっぷり使用したタニタ監修弁当の販売を全国に広げる等、健康志向のお客様への訴求を図り、女性や中高年層をはじめとする新規顧客の獲得に努めました。

これらに加え、店舗収益力の一層の強化を図るため、店舗の改装・移転を積極的に行うと共に、不採算店舗の早期退店を進めました。また、一部店舗に券売機を導入する等、新たな取り組みも開始しました。

フランチャイズ展開につきましては、「ユニットFC制度」を利用して、引き続き新規オーナーの獲得及び既存オーナーの多店舗化に積極的に取り組みました。

しかしながら、既存店売上高は、前年同期比97.0%となりました。

以上の結果、売上高は、299億61百万円(前年同期比5.0%減)、営業利益は12億67百万円(前年同期比20.0%減)となりました。売上高につきましては、既存店売上高が前年同期実績を下回ったこと、直営店の加盟店への移管が進んだことが要因で、前年同期実績を下回りました。営業利益につきましては、直営店舗の原価改善や、広告宣伝費等のコストの効率化を図ったものの、既存店売上高の減少の影響が大きく、前年同期実績を下回りました。

【やよい軒事業】

素材や手づくり感にこだわった定食メニューをお手頃な価格で提供することを基本に、季節感を取り入れた商品やボリューム感ある商品を発売し、他店との差別化を図りました。また、お客様に快適にご利用いただけるよう、店舗のQ S Cの向上に努めると共に、テレビCMの放映やディスカウントキャンペーンを効果的に実施し、お客様の来店促進を図りました。

また、フランチャイズ展開を推進するため、新規オーナーの募集を行い、加盟店の増加に努めました。

しかしながら、既存店売上高は、前年同期比99.7%となりました。

以上の結果、売上高は72億21百万円(前年同期比5.0%増)、営業利益は6億5百万円(前年同期比27.9%増)となりました。売上高につきましては、新規出店により店舗数が増加したことが要因で、前年同期実績を上回りました。営業利益につきましては、店舗数が増加したこと、出店に伴う初期費用が前年同期間に比べ減少したことが要因で、前年同期実績を上回りました。

【MKレストラン事業】

豊富な具材と個性豊かなスープが選べる「MK鍋」に、本格飲茶やランチセットも取り揃え、お客様の幅広いニーズへの対応を図りました。お客様に「MK鍋」をよりお楽しみいただけるよう、2種類のスープを選べる仕切鍋を導入する等の取り組みも実施しております。また、店舗のQ S Cの向上に努めると共に、テレビCMの放映や携帯電話・スマートフォンを利用した「MKポイントサービス」会員の獲得にも注力する等、お客様の来店促進を図りました。

これらにより、既存店売上高は前年同期比103.7%と好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は8億76百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益は64百万円(前年同期は17百万円の営業損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4億32百万円増加し、876億16百万円となりました。内訳は、流動資産85百万円の増加、固定資産3億47百万円の増加であります。流動資産の増加は、現金及び預金3億86百万円の減少、商品及び製品5億49百万円の増加などによるものです。また、固定資産の増加は、有形固定資産2億40百万円の増加、投資その他の資産1億39百万円の増加などによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ75百万円増加し、243億52百万円となりました。内訳は、流動負債6億22百万円の増加、固定負債5億47百万円の減少であります。流動負債の増加は、支払手形及び買掛金5億92百万円の増加、未払法人税等4億68百万円の増加、賞与引当金4億19百万円の増加、未払消費税等5億8百万円の減少、未払金4億33百万円の減少などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億57百万円増加し、632億64百万円となりました。内訳は、利益剰余金が四半期純利益により13億7百万円増加、剰余金の配当により9億55百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成27年4月10日に公表いたしました予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、主要な関係会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,748	23,362
受取手形及び売掛金	2,343	2,316
商品及び製品	5,357	5,907
原材料及び貯蔵品	49	61
その他	2,944	2,790
貸倒引当金	△163	△71
流動資産合計	34,281	34,366
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,665	26,905
その他(純額)	10,152	10,153
有形固定資産合計	36,817	37,058
無形固定資産		
	501	468
投資その他の資産		
その他	15,603	15,742
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	15,584	15,723
固定資産合計	52,903	53,250
資産合計	87,184	87,616
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,912	5,505
未払法人税等	310	779
賞与引当金	319	739
ポイント引当金	95	96
株主優待引当金	76	81
資産除去債務	22	122
その他	9,686	8,723
流動負債合計	15,424	16,046
固定負債		
資産除去債務	4,357	4,336
その他	4,494	3,969
固定負債合計	8,852	8,305
負債合計	24,276	24,352

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,461	3,461
資本剰余金	4,916	4,916
利益剰余金	66,157	66,509
自己株式	△12,035	△12,035
株主資本合計	62,500	62,851
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18	27
繰延ヘッジ損益	2	10
為替換算調整勘定	39	39
その他の包括利益累計額合計	60	78
新株予約権	235	235
少数株主持分	110	98
純資産合計	62,907	63,264
負債純資産合計	87,184	87,616

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成26年 3 月 1 日 至 平成26年 5 月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成27年 3 月 1 日 至 平成27年 5 月31日)
売上高	39,287	38,058
売上原価	18,111	17,375
売上総利益	21,176	20,683
販売費及び一般管理費	19,170	18,780
営業利益	2,006	1,903
営業外収益		
受取利息	13	14
受取配当金	6	0
為替差益	3	153
固定資産賃貸料	38	39
持分法による投資利益	4	3
その他	64	126
営業外収益合計	131	338
営業外費用		
固定資産賃貸費用	14	10
その他	7	8
営業外費用合計	21	19
経常利益	2,115	2,222
特別利益		
固定資産売却益	4	-
特別利益合計	4	-
特別損失		
固定資産処分損	76	59
減損損失	93	124
その他	1	7
特別損失合計	171	191
税金等調整前四半期純利益	1,949	2,031
法人税等	747	735
少数株主損益調整前四半期純利益	1,201	1,295
少数株主損失 (△)	△4	△12
四半期純利益	1,206	1,307

四半期連結包括利益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成26年 3 月 1 日 至 平成26年 5 月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成27年 3 月 1 日 至 平成27年 5 月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,201	1,295
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	9
繰延ヘッジ損益	—	8
為替換算調整勘定	△11	△0
その他の包括利益合計	△15	17
四半期包括利益	1,186	1,312
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,196	1,324
少数株主に係る四半期包括利益	△10	△12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ほっともつと 事業	やよい軒 事業	MKレスト ラン事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高 (その他営業収入を含む)	31,552	6,879	855	39,287	—	39,287
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	31,552	6,879	855	39,287	—	39,287
セグメント利益又は損失(△)	1,584	473	△17	2,041	△35	2,006

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ほっともつと 事業	やよい軒 事業	MKレスト ラン事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高 (その他営業収入を含む)	29,961	7,221	876	38,058	—	38,058
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	29,961	7,221	876	38,058	—	38,058
セグメント利益	1,267	605	64	1,937	△34	1,903

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。